

平成28年6月6日

環境測定分析実施機関各位

川崎市川崎区四谷上町10-6  
一般財団法人日本環境衛生センター  
理事長 南川 秀樹

平成28年度環境測定分析統一精度管理調査（環境省主催）に係る参加申し込みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当所の業務につきましては、平素より格別の御高配を賜り、深謝いたしております。

さて、当所では、これまで環境省からの請負による環境測定分析統一精度管理調査を実施しており、本年度においても引き続き同調査を実施しております。

本年度の調査に関しては、基本精度管理調査として、廃棄物（ばいじん）試料の溶出試験による重金属類（鉛、六価クロム、銅、亜鉛）を対象とします。高等精度管理調査としては水質試料中の揮発性有機化合物（ジクロロメタン、トリクロロエチレン、1,4-ジオキサン）及び底質試料中のダイオキシン類を対象とします。本調査に関する詳細は、本調査のホームページ(<http://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>)をご覧ください。

今年度調査に基づく参加申込要領を御案内いたしますので、従来と変わらぬ本調査へのご協力を賜りたくお願い申し上げます。

本件担当

環境科学部 紀平、鹿島  
電話 044-288-4905

平成28年度環境測定分析統一精度管理調査の参加申込要領  
(民間、大学、独立行政法人等)

1. 調査試料

区分	名称	容器(内容量)	個数	備考
共通試料1	廃棄物(ばいじん)試料 (溶出試験:重金属類分析用)	ポリエチレン瓶 (約160g)	1	乾燥したばいじんを150 $\mu$ m(100メッシュ)のふるいを通過したもの
共通試料2	模擬水質試料 (揮発性有機化合物分析用)	ガラス瓶 (約250mL)	1	水溶液
共通試料3	底質試料 (ダイオキシン類分析用)	ガラス製瓶 (約50g)	1	乾燥した底質を150 $\mu$ m(100メッシュ)のふるいを通過したもの

2. 分析項目

(1) 基本精度管理調査

- a. 廃棄物(ばいじん)試料(溶出試験:重金属類分析用)  
試料中の重金属類4項目(鉛、六価クロム、銅、亜鉛)を測定対象とする。  
参加機関は最低1項目以上を選択し、分析を行う。

(2) 高等精度管理調査

- a. 模擬水質試料(揮発性有機化合物分析用)  
試料中の揮発性有機化合物3項目(ジクロロメタン、トリクロロエチレン、1,4-ジオキサン)を測定対象とする。  
参加機関は最低1項目以上を選択し、分析を行う。

b. 底質試料(ダイオキシン類分析用)

試料中のダイオキシン類を測定対象とし、次に示すポリクロロジベンゾ-パラ-ジオキシン(PCDDs)及びポリクロロジベンゾフラン(PCDFs)の異性体及び同族体とそれらの総和、ダイオキシン様PCBs(DL-PCBs、“コプラナーPCBsとも呼ばれる”)の異性体及びそれらの総和、毒性当量(TEQ)を分析する。

- ・ PCDDs及びPCDFsの異性体については、2,3,7,8-位塩素置換異性体(17異性体)とする。  
17異性体とは、PCDDs7項目(2,3,7,8-TeCDD、1,2,3,7,8-PeCDD、1,2,3,4,7,8-HxCDD、1,2,3,6,7,8-HxCDD、1,2,3,7,8,9-HxCDD、1,2,3,4,6,7,8-HpCDD及びOCDD)及びPCDFs10項目(2,3,7,8-TeCDF、1,2,3,7,8-PeCDF、2,3,4,7,8-PeCDF、1,2,3,4,7,8-HxCDF、1,2,3,6,7,8-HxCDF、1,2,3,7,8,9-HxCDF、2,3,4,6,7,8-HxCDF、1,2,3,4,6,7,8-HpCDF、1,2,3,4,7,8,9-HpCDF及びOCDF)である。
- ・ PCDDs及びPCDFsの同族体とそれらの総和については、四塩素化物から八塩素化物の各同族体とそれらの和とする。
- ・ DL-PCBsの異性体については、ノンオルト及びモノオルト異性体(全体で12異性体)とする。12異性体とは、ノンオルト4項目(3,3',4,4'-TeCB、3,4,4',5-TeCB、3,3',4,4',5-PeCB及び3,3',4,4',5,5'-HxCB)及びモノオルト8項目(2',3,4,4',5-PeCB、2,3',4,4',5-PeCB、2,3,3',4,4'-PeCB、2,3,4,4',5-PeCB、2,3',4,4',5,5'-HxCB、2,3,3',4,4',5-HxCB、2,3,3',4,4',5'-HxCB及び2,3,3',4,4',5,5'-HpCB)である。
- ・ DL-PCBsの異性体の総和については、ノンオルト体、モノオルト体とそれらの和とする。
- ・ TEQについては、PCDDs及びPCDFs、DL-PCBs並びにそれらの和とする。なお、TEQの算出に当たっ

ては、毒性等価係数（TEF）としてWHO/IPCS（2006年）を用いる。

参加機関は最低1項目以上を選択し、分析を行う。

### 3. 分析方法

#### (1) 廃棄物（ばいじん）試料（溶出試験：重金属類分析用）

「産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法」（昭和48年環境庁告示第13号）における「埋立処分を行おうとするばいじん」に係る方法に従って分析する。ただし、銅及び亜鉛については、「産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法」と同様に検液（溶出液）を調製し、JIS K 0102（工場排水試験方法）に定める方法により分析する。

#### (2) 模擬水質試料（揮発性有機化合物分析用）

「水質汚濁に係る環境基準について」（昭和46年環境庁告示第59号。以下、「水質環境基準告示」という）に定める方法により分析する。

#### (3) 底質試料（ダイオキシン類の分析）

「ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌の汚染に係る環境基準」（平成11年環境庁告示第68号。以下、「底質環境基準告示」という）に定める方法により分析する（詳細は、「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」（平成21年3月環境省水・大気環境局水環境課）による）。

### 4. 試料の配布時期及び分析結果の報告期限

#### (1) 配布時期（予定）

8月上旬

#### (2) 報告期限（予定）

・廃棄物（ばいじん）試料（溶出試験：重金属類分析用）

模擬水質試料（揮発性有機化合物分析用）

9月上旬

・底質試料（ダイオキシン類分析用）

9月中旬

ただし、分析結果報告の方法（ホームページ又は用紙による報告）により報告期限が異なります。用紙による報告の場合、ホームページによる報告に比べて期限が1週間程度早くなります。

#### (3) 調査結果の報告（公開等）

・全体の中間報告は10月下旬頃を予定しています。

・分析結果を報告いただいた機関には、年度末（時期未定）に「調査結果報告書」（環境省編）を送付予定としています。

### 5. 申込方法

申し込み方法には「郵送による方法」、「ホームページによる方法」があります。

「郵送による方法」は、別紙参加申込書に記入の上、期限までに下記(2)申込先へ送付く

ださい。

「ホームページによる方法」は、ホームページ「<http://www.env.go.jp/air/tech/seido-kanri/index.html>」にアクセスし、トップページ中の「調査参加機関ログイン」を選択するとログイン画面が表示されます。「機関コード」、「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックすると参加申込の画面が表示されますので、期限までに記入してください。「機関コード」、「パスワード」のわからない機関（最近本調査に参加したことのない機関等）では、ホームページによる申し込みはできません。参加申し込みされた場合には、「機関コード」、「パスワード」は、試料の送付（配布）時にお知らせしますので、分析結果報告等はホームページから可能です。

なお、電話、ファックスによる申し込みはご容赦ください。また、調製する共通試料には数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

(1) 申込期限 平成28年7月6日（水）（必着）

(2) 申込先 〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6  
一般財団法人日本環境衛生センター  
環境科学部 紀平、鹿島  
TEL 044-288-4905

(3) 参加の区分及び費用（税込み）

区分		費用	
共通試料1		18,000円	共通試料1～3合わせて 63,000円
共通試料2		18,000円	
共通試料3		30,000円	
分析結果の 報告の方法	ホームページ にて報告	増額なし	
	用紙にて 報告	共通試料毎に 各1,000円増額	

(4) 参加の費用のお支払方法

参加の費用については、試料と共に振込先を明示した請求書を送付しますので、試料受取後1か月程度にお振込みください。

## 6. その他

(1) 参加機関の要件

本調査に参加できる機関は、実際に分析等を実施している機関であり、国内の他機関へ委託して実施している機関は参加できませんので、ご了承ください。

(2) 分析結果の公表

各機関の分析結果等（分析条件別の回答数や平均値・室間精度等の統計量の算出根拠として該当するデータ、分取量100 mLとした回答が多い等の文章表現も含む）を公表（結果と機関名が対比できる表等を作成の上、公表）しますので、参加申込をいただいた機関に

については、その旨をご了承いただいたものとして、処理させていただきます。

(3) 極端な分析結果

極端な分析結果（外れ値等）を報告された場合には、その原因究明のためのアンケート調査を実施しますので、ご了承ください。

(4) ホームページによる分析結果報告の作成

環境測定分析統一精度管理調査ホームページを公開し、本調査に関する情報等を閲覧することができます（<http://www.env.go.jp/air/tech/seidokanri/index.html>）。

参加機関は、当ホームページから分析結果報告を報告し、用紙による報告は必要ありません。ホームページによることが難しい機関のみ用紙による報告とします。なお、用紙による報告の場合、ホームページによる報告期限に比べて一週間程度早くなります。

# 平成28年度環境測定分析統一精度管理調査に係る参加申込書

(民間、大学、独立行政法人等)

機関名		
機関コード	(わかれば記入してください)	
所在地	〒	
試料の送付先	〒 (上記所在地と試料の送付先が異なる場合)	
担当者	所属	TEL ( ) -
	氏名	FAX ( ) -
希望する試料 (数字及び分析結果報告の方法を○で囲んでください)	1. 共通試料1 (ホームページ、用紙) (注) (廃棄物(ばいじん)試料: 溶出試験: 重金属類分析用) 2. 共通試料2 (ホームページ、用紙) (注) (模擬水質試料: 揮発性有機化合物分析用) 3. 共通試料3 (ホームページ、用紙) (注) (底質試料: ダイオキシン類分析用)	

(注) 分析結果報告の方法(ホームページ、用紙)を○で囲んでいない場合は、ホームページによる報告として取扱いますので、ご了承ください。

一般財団法人日本環境衛生センター 殿

平成28年度環境測定分析統一精度管理調査への参加を申し込みます。

平成28年 月 日

機関名

印